

地域防災リーダー・スキルアップ講座 受講生募集のお知らせ

災害が頻発する昨今において、災害発生に関するリスクおよび災害発生後の対応に関するリスクを適切に把握することが重要になっています。

このたび県では、地域防災リーダーのスキルアップ講座として、防災情報を用いたリスク管理および避難所運営ワークショップを通じた要配慮者に関するリスク管理を学ぶための研修を実施します。今年度開業する宿泊施設を活用した宿泊型研修として、講師との交流も予定していますので多くの方のご参加をお待ちしております。

「防災イメージーションからあんしんな
くらしをデザインするワークショップ」の開催

1 研修概要

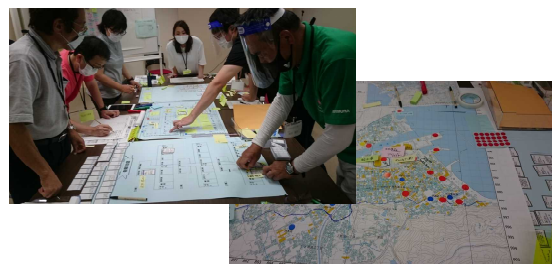
- (1) 日 程 8月6日(土)から7日(日)〈1泊2日〉
- (2) 場 所 兵庫県広域防災センター(三木市志染町御坂1-19)
- (3) カリキュラム 別紙のとおり※日程、内容は変更する場合があります。
- (4) 定 員 50人(定員を上回る場合は先着順)
- (5) 応募資格 防災リーダー等として一定の活動実績のある方(ひょうご防災リーダー、防災士等)
- (6) 応募方法 申込フォームから必要事項を記入して応募してください。(※裏面参照)
※申込メールは受講決定ではありませんのでご注意ください。
- (7) 募集期間 令和4年7月1日(金)9:00~7月22日(金) ※定員に達し次第終了
- (8) 受講決定 事務局より本人に通知します。

研修イメージ

2 参加費

6,500円(宿泊料3,000円+食事代3,500円)

※食事代は、朝夕1回および昼2回を含みます



3 その他:

- ・研修修了者には修了証を発行します。
- ・受講者には宿泊していただきます。

問合せ先 :兵庫県広域防災センター防災教育担当 TEL : 0794-87-2928

■■■ お申込みはこちら ■■■

<https://www.e-hyogo.elg-front.jp/hyogo/uketsuke/form.do?id=1655443415537>

(申込受付期間は 令和4年7月1日(金) から7月22日(金) です。

(定員に達し次第締切ります))

※県消防保安課ホームページからもアクセスが可能です。(詳細は下面参照)



おことわり

- ・申込みに際して提供いただく個人情報は、フォローアップ研修の連絡用にのみ利用します。
- ・研修の様子を動画で記録し、後日研修用資料として利用する予定です。
- ・新型コロナウイルスの感染状況により、研修を中止する場合があります。

■ 会場案内 県広域防災センター (兵庫県三木市志染町御坂 1-19)



■ 県消防保安課 HP からの申込み

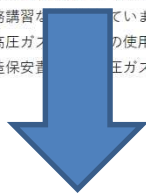
インターネットで「兵庫県消防保安課」と検索 ⇒ 兵庫県消防課のページの一番下にリンクがあります。

更新日：2022年6月9日

危機管理部 消防保安課

業務内容

県民の防火・防災意識高揚のための普及啓発を図るとともに、消防力強化や消防業務の指導・支援を実施しています。また、危険物取扱者、消防設備士の義務講習などを行っています。また、県民の安全を確保するために、高圧ガス保安法の使用並びに電気工事業の業務の適正化等について指導・監督を行っています。併せて、高圧ガス製造保安責任者の高圧ガス販売主任者、火薬類取扱責任者及び電気工事士の免状交付、保安講習などを行っています。



ひょうご防災リーダー・スキルアップ研修

スキルアップ研修はこちらからお申し込みください。

<https://www.e-hyogo.elg-front.jp/hyogo/uketsuke/form.do?id=1636536127227>

申込はこちら



「防災士スキルアップ研修」カリキュラム

		10:15	第1時限(10時30分～11時50分)	第2時限(12時50分～14時10分)	第3時限(14時25分～15時45分)	第4時限(16時～17時20分)	食事等	18時30分～20時
1 日 目	開講式		災害対策 up to date 直近の災害事例から学ぶ 東京大学 目黒公郎 オールハザード・リスクに基づくアプローチ 兵庫県 田中健一 神戸市看護大学 神原咲子直近の災害事例から学ぶ	防災イメージーション・リスク把握演習 兵庫県 田中健一 神戸市看護大学 神原咲子	避難所設営・運営・情報共有統合実習 兵庫県立大学 増野園恵	避難とあんしん暮らしをデザインするワークショップ 神戸市芸術工科大学 曾和具之 神戸市看護大学 神原咲子		著名講師及び他職種防災人材との意見交換著名講師との意見交換会
				目黒巻と地図を使って、災害時に起こることを地図化するワーク	災害時要配慮者の避難所運営訓練(講堂など) 大学院生・看護師によるファシリテーション	ここにとって災害から「あんしん」を取り戻すにはを考える。 5x5 VR +RTV.		避難と食事、ローリングストックの考え方など(まちケア)
2 日 目		8:45	第1時限(9時～10時20分)	第2時限(10時35分～11時55分)	第3時限(12時55分～14時15分)	第4時限(14時30分～15時50分)		
	OR		豪雨時の土砂災害における早期警戒・避難に向けた防災気象情報の活用および情報伝達に関する講義 関西大学社会安全学部教授 小山 倫史 氏		豪雨時の土砂災害における早期警戒・避難に向けた防災気象情報の活用および情報伝達に関するワークショップ 関西大学社会安全学部教授 小山 倫史 氏及び研究生			
			豪雨時の土砂災害に関わる防災情報である「土砂災害ハザードマップ」および「土砂災害警戒情報」(それぞれ「どこ」および「いつ」に関わる防災情報)は、豪雨時に土砂災害発生危険度が高まったとき、住民の早期警戒・避難の判断の参考となる重要な情報である。しかし、行政がこれらの情報を発表しても、必ずしも住民の早期避難行動に結びついていないのが現状である。そこで、本ワークショップでは、まず、豪雨時の土砂災害発生危険度をどのように判断し、土砂災害警戒情報を発表するのかについて詳細に解説する。次に、土砂災害警戒情報の発表の仕組みを理解した上で、早期警戒・避難に繋げていくのかについて考える。最後に、過去の土砂災害のいくつかの事例を取り上げ、防災気象情報および避難に関わる情報の発表のタイミングについて照査するとともに、住民の早期警戒・避難行動を促すための災害情報情報の共有・伝達の方法のあり方について議論する。					